

表一4 雌魚精密調査結果・その1(体長・体重・卵巣重量:1987年)

標本 No	漁獲月日	漁獲位置 (~前)	漁法	供試個 体数 (尾)	平均 全長 mm	平均 体長 mm	平均 体重 g	卵巣		平均 mg	GSI 平均 %
								右葉	左葉		
1	1月28日	請戸	船曳網	10	69.2	62.5	0.88	—	—	0.04	4.5
2	2月10日	浦尻	船曳網	16	71.8	64.4	1.08	—	—	0.15	13.9
3	2月10日	小良ヶ浜	刺し網	10	70.9	63.2	0.93	0.10	0.06	0.17	18.3
4	2月27日	熊川	刺し網	12	71.6	64.2	1.13	0.16	0.07	0.23	20.4
5	3月11日	木戸川	船曳網	10	75.6	67.9	1.65	0.26	0.10	0.36	21.8
6	3月17日	熊川	刺し網	10	72.9	65.4	1.29	0.26	0.09	0.35	27.1
7	3月27日	熊川	刺し網	10	74.9	67.1	1.44	0.30	0.08	0.38	26.4
8	4月13日	熊川	刺し網	10	75.6	67.9	1.44	0.26	0.10	0.36	25.0
9	4月28日	熊川	刺し網	10	74.2	66.3	1.32	0.16	0.10	0.26	19.7
10	5月21日	小良ヶ浜	刺し網	10	74.4	65.7	1.16	0.18	0.06	0.25	21.6
11	5月29日	小良ヶ浜	刺し網	10	77.1	68.8	1.42	0.22	0.08	0.30	21.1
12	6月6日	小良ヶ浜	刺し網	10	73.7	65.5	1.31	0.25	0.08	0.33	25.2
13	6月16日	小良ヶ浜	刺し網	10	74.0	65.9	1.07	0.14	0.07	0.21	19.6
14	6月24日	小良ヶ浜	刺し網	10	74.9	66.6	1.20	0.16	0.06	0.22	18.3

表一5 雌魚精密調査結果・その2(卵数・卵径:1987年)

標本 No	漁獲月日	漁獲位置 (~前)	漁法	供試個 体数 (尾)	大型卵			肥満度 平均
					卵数平均 (粒)	卵数範囲 (粒)	卵径平均 (mm)	
1	1月28日	請戸	船曳網	10	—	—	0.36	3.57
2	2月10日	浦尻	船曳網	16	—	—	0.79	4.05
3	2月10日	小良ヶ浜	刺し網	10	368	288~471	—	3.67
4	2月27日	熊川	刺し網	12	449	215~648	0.97	4.26
5	3月11日	木戸川	船曳網	10	618	485~872	1.00	5.26
6	3月17日	熊川	刺し網	10	627	515~780	0.99	4.61
7	3月27日	熊川	刺し網	10	656	440~932	1.00	4.77
8	4月13日	熊川	刺し網	10	678	583~819	0.89	4.58
9	4月28日	熊川	刺し網	10	534	1~870	0.87	4.55
10	5月21日	小良ヶ浜	刺し網	10	518	0~778	0.99	4.06
11	5月29日	小良ヶ浜	刺し網	10	570	179~704	0.99	4.35
12	6月6日	小良ヶ浜	刺し網	10	642	444~764	0.98	4.57
13	6月16日	小良ヶ浜	刺し網	10	510	35~683	0.92	3.75
14	6月24日	小良ヶ浜	刺し網	10	444	60~707	0.90	3.97

卵は一見して、熟卵と未熟卵とに分けることができる。水を張ったシャーレ上で、熟卵はピンセットで1個ずつ分離することが出来る。この分離できた卵(以下大型卵と呼ぶ)を全数計測した。この大型卵(成熟した未授精卵)は、球形ではあるが、表面はデコボコした凹凸が見られ、卵黄は無色透明で、外卵膜の中心となる、6~9本の孔からなる胚孔が観察された(図-8)。

未熟卵は、粒径の小さな卵のかたまりであり、ピンセットによる分離は不可能であった。この未熟卵が成